

# 地域連携NEWS

地方独立行政法人  
**東京都健康長寿医療センター**  
 TOKYO METROPOLITAN GERIATRIC HOSPITAL AND INSTITUTE OF GERONTOLOGY

医療サービス推進課医療連携室  
 Vol.79 2019年3月発行

〒173-0015  
 東京都板橋区栄町35番2号  
 TEL03(3964)1141(代表)  
 FAX03(3964)1392(連携室)

## 血管外科のご紹介



血管外科  
 医長 赤木 大輔

2018年4月より東京大学より赴任しました血管外科の赤木大輔です。血管外科は心臓と頭蓋内以外の血管疾患の診断治療を担当しています。血管病は心疾患、脳血管疾患などの循環器疾患の一部ではありますが、近年増加しており、主な疾患として大動脈瘤、深部静脈血栓症/肺動脈血栓症など生命に関わるものから閉塞性動脈硬化症による間欠性跛行、下肢静脈瘤などの生活の質を著しく損なうもの、重症下肢虚血と呼ばれる難治性潰瘍や壊疽などで肢切断に至るものがあります。末梢血管疾患は近年血管内治療の広がりとともにデバイスの進歩が著しく、従前からの手術術式にも改良が加えられ、専門性が高くなってきております。このため関連各科でのいわば片手間な治療では世界標準に適合しなくなってきました。また、保存的加療の選択をされる患者様に対する薬物療法も進歩しています。血液透析患者様の内シャントに関する治療も腎臓内科と協力して行なっています。

大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術は広がってきています。約1年半前に認可された内腸骨動脈瘤を温存するデバイス(Excluder® Iliac Branch Endoprosthesis; IBE, ゴア社)を始め、患者様の動脈瘤の形態に合わせた5機種を適切に選択し、塞栓術を適宜併用し長期予後を見込んだ治療を行なっています。

閉塞性末梢動脈疾患については、重症下肢虚血例には下腿足部への自家静脈バイパスを積極的行なっている一方で、血管内治療にも力を入れており、薬剤溶出性バルーン、ステントグラフト、薬剤溶出性ステントなどの新規デバイスも適切に適応と特性を鑑みて使用しており、学会の趨勢に合わせるのみならず、学会を引っ張るような積極的な臨床活動を行なっています。

血管外科の専門医は全国的にはまだ少数ではありますが、当センターでは末梢血管領域で歴史ある東京大学血管外科出身の専門医が診療しております。スタッフが少数ですので毎日外来診療を開設できておりませんが、末梢血管疾患診療が必要とされる時、診断に苦慮する時なども含めご紹介いただけますと幸いです。今後共の連携をお願い申し上げます。



写真1：腹部大動脈瘤/両側腸骨動脈瘤に対するIBE留置症例(当センター症例)



写真2：浅大腿-足背動脈バイパス術症例(矢印；足背動脈吻合部、当センター症例)



写真3：石灰化を伴う腸骨動脈に対しステントグラフトバイアバーンVBX留置例(当センター症例)

### 【外来診察日】

火曜日：中澤 水曜日：赤木 金曜日：中澤・根元

予約専用電話	検査予約	医療連携室	
外来受診予約専用番号 <b>03(3964)4890</b> 対応時間 月～金 9:00～17:00  当センターは紹介予約制です。ご紹介の際は、紹介状とご予約をお願いいたします。	代表電話番号 <b>03(3964)1141</b> 対応時間 月～金 9:00～17:00 ◎CT、MRI、骨密度(内線2171) ◎RI(SPECT、PET検査)(内線2154) 検査科にてスムーズな予約対応を行っております。	医療連携についての問い合わせ <b>03(3579)6963</b>  医療連携室FAX番号 <b>03(3964)1392</b>  ホームページ： <a href="http://www.tmgig.jp/">http://www.tmgig.jp/</a> (過去の地域連携NEWS、講演会のご案内、医療連携室のご案内はホームページでご覧いただけます。)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●東武東上線 「大山」駅下車南口・北口より徒歩4分</li> <li>●都営地下鉄三田線 「板橋区役所前」駅下車A3出口より徒歩11分</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>東京都健康長寿医療センター</b></p>

## 連携医療機関のご紹介 山櫻診療所



山櫻診療所  
院長 山田 由紀

当診療所は東武東上線板上板橋駅北口より徒歩5分、コジマ×ビックカメラ板上板橋店の近くにあり  
ます。平成24年2月に開設し、私の他スタッフ3人、全員子育て経験のある女性のみ家庭的なク  
リニックです。

上板橋周辺は東京とはいえ隣近所の距離が近く、人情味あふれる地域で、私自身はこの地域で  
の診療は22年目になります。子供の頃に受診されていた方が、お子さんと一緒に来院されたりす  
ると歳月をしみじみと実感し、0歳から101歳まで各年代の患者様から本当に多くのことを学ばせ  
てもらっています。

東京都健康長寿医療センターにはやさしく、かつ適切な医療を提供していただいております、当院  
の患者様にも大変人気があります。最近介護保険意見書が必要な高齢者が増え、身体的理由か  
ら交通機関を利用して総合病院への通院困難な方が多くなっています。認知症の他、疾患も多岐  
にわたり、かつ複雑化している状況で、東京都健康長寿医療センターとの連携は患者様のみならず私自身も安心して診療  
ができ大変有り難く感謝しています。

平成も終わりになり、AI化がますます進み  
新しい時代になりますが、どんな時代にな  
っても安心は人とのつながりからだと思っていま  
す。地域の皆様が何でも気軽に相談ができ、穏  
やかに暮らせるように微力ではありますが努力  
したいと思っております。

今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

**山櫻診療所** 〒174-0076 東京都板橋区上板橋3-15-5  
TEL: 03-3933-8739

**診療科**: 内科・小児科

**休診日**: 土曜午後・木曜・日曜・祝日

**診療時間**:

	月	火	水	木	金	土	日
9:00 ~ 12:30	○	○	○	△	○	○	△
15:00 ~ 18:00	○	○	○	△	○	△	△

**アクセス**: 東武東上線 上板橋駅北口より徒歩5分

## 平成30年度特別講演一覧

平成30年4月17日(火) 神経内科・脳卒中科セミナー  
「心房細動患者の脳塞栓症予防-DOACの役割-」  
埼玉医科大学国際医療センター 神経内科特任教授 棚橋紀夫 先生

平成30年8月21日(火) 消化器セミナー  
「高齢化社会における便秘症診療」  
帝京大学医学部内科学講座 教授 山本貴嗣 先生

平成30年9月26日(水) 老年医学セミナー  
「骨粗鬆症の基礎と臨床」  
国際医療福祉大学医学部老年病学 主任教授 浦野友彦 先生  
「高齢者糖尿病患者の骨折防止に向けたトータルケア-サルコペニア・CKD・低血糖の重症性-」  
大阪市立大学大学院医学系研究科代謝内分泌病態内科学・腎臓病態内科学 教授 稲葉雅章 先生

平成30年10月3日(水) 神経内科・脳卒中科セミナー  
「脳卒中予防からみたDOACの光と影」  
日本医科大学大学院医学研究科 神経内科学分野大学院 教授 木村和美 先生

平成30年10月9日(火) 血管病セミナー  
「そうだったのか、深部静脈血栓症! ~歴史から紐解く抗凝固療法の意義~」  
東京医科大学 心臓血管外科分野 教授 西部俊哉 先生

平成30年11月1日(木) 神経内科・脳卒中科セミナー  
「超高齢化時代の高齢者てんかんを考える」  
TMGあさか医療センター 脳卒中・てんかんセンター センター長 久保田有一 先生

平成30年12月12日(水) 老年医学セミナー  
「老年医学と性差医学」  
関東中央病院 健康管理課部長 宮尾益恵子 先生

「高齢者とCKDと食事療法」  
東京医科大学腎臓内科学分野 主任教授 菅野義彦 先生

平成30年12月19日(水) 呼吸器セミナー  
「最新の喘息治療と将来展望」  
公営樹財団法人結核予防会榎十字病院 院長 大田健 先生

平成31年3月1日(金) 消化器フォーラム  
「がんと血栓症~重要性を増すOnco-cardiologyと静脈血栓塞栓症治療~」  
兵庫医科大学 外科学講座 下部消化管外科 臨床教授 池田正孝 先生

平成31年3月8日(金) 神経内科・脳卒中科セミナー  
「筋萎縮性側索硬化症の病態とペランパネル治療」  
東京医科大学病院 脳神経内科 主任教授 相澤仁志 先生

## リニューアルに伴う発行終了のお知らせ

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、平成10年8月の創刊以来、皆さまにご支援を頂戴してまいりました『地域連携NEWS』ですが、本号 (Vol.79) を  
もちまして発行を一旦終了とさせていただきます。

これまで『地域医療連携NEWS』を永らくご愛読いただきました皆さまには、突然の発行終了のお知らせとなりますこと  
をお詫び申し上げます。

今後はより一層充実した内容をお届けすべく、地域連携NEWSの後継となるリニューアル広報誌の発行を予定しており  
ます。新たな広報誌をどうかご期待ください。

今後も医療連携向上に努めてまいりますので、何卒ご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。